

「07年6月の全国網羅」目指す

(株)アイリックコーポレーション

第2回全国経営者会議で表明

【(株)アイリックコーポレーション(東京都文京区、勝本竜二社長)が全国にフランチャイズ展開している来店型保険ショップ「保険クリニック」の代理店が拡大している。2月登録で50代理店(店舗数は59)、全店舗合計の募集人数は7777人、1代理店当たりの平均保有額は生保が約3億円、損保が約2億円、手数料額は9800万円に達している。「保険クリニック」の現状については、2月10日に東京都千代田区の赤坂プリンスホテルで開催した「第2回全国『保険クリニック』経営者会議」で明らかにしたもので、当日は、今後の事業計画も説明。「各種取り組みを推進し、2007年3月をめどに上場を実現したい」考えだ。

07年3月めどに上場実現へ

フランチャイズの来店型店舗

「保険クリニック」が急速拡大



勝本社長

「保険クリニック」は、アイリックコーポレーションが独自に開発したソフトウェア「保険ナビゲーションシステムII IQ」を使い、提携代理店(来店型ショップ)が消費者向けに保険のコンサルティングをするシステム。

IQでは、Webで全国に共通のサービス(例えば、既契約の分析、生活必要保障額の算出、自分に合った保険探しなど)を提供しており、営業担当者の業務がバックアップされるため代理店の自立化も促進される。また、このフランチャイズ事業では、全国を120に分けたエリアをそれぞれ1代理店が担当。「保険クリニック」の名称は、提携代理店が自社の代理店名を変更することなく使うことができるため、一定規模以上の代

理店からの関心が高い。既に一つの代理店が複数店舗を出しているケースがあるほか、日本アジア証券の法人顧客向けの保険コンサルティングを受託、おきな証券で「保険クリニック」開設など



第2回全国「保険クリニック」経営者会議

の取り組みも行っている。現在は、「上場企業およびそれに準ずる規模の企業との提携」「法人向けIQシステムの開発準備」「パソコンカメラによる各クリニックとのネットワーク環境を準備」など複数のプロジェクトを進めており、今年3月にはIPの全面改良を完成させる予定。また、店舗数は、今年6月には84店、07年6月には120店に(エリアをほぼ網羅)する計画だ。

エリアは、商圏や人口などで決められている。今後希望代理店が出店できるエリア(都道府県または市)には、北から順に、札幌以外の北海道、青森県、岩手県、山形県、福島県、栃木県、水戸市、つくば市、小田原市、豊田市、一宮市、伊勢市、松本市、山梨県、京都府、滋賀県、鳥取県、島根県、下関市、香川県、徳島県、高知県、佐賀県、熊本県などがある。